

関西広域農林水産業ビジョン（改訂版・中間案）に対するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

令和6年1月

関西広域連合広域産業振興局農林水産部

「関西広域農林水産業ビジョン（改訂版・中間案）」に対する府県民意見等を募集した結果、4名から延べ4件（うち意見の公表を望まないもの1件）のご意見・ご提案をいただきました。

いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は下記のとおりです。

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1	森を本来の姿に戻すこと（戦後の極端な林業政策の誤りをただす）にご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。	今回、いただきましたご意見・ご提案は、府県市が主体的に検討すべきまたは取り組むべき内容でありますので、各構成府県市と共有してまいります。また、広域連合としましては、府県市が取り組む林業対策や持続可能な農林水産業の推進等に対し、具体的にどのような連携ができるのかについて引き続き検討してまいります。
2	P7戦略1の「域内の企業や学校」を「域内の企業や官公庁（学校等を含む）」としてはいかがか？ 具体内容として下記の通り提案する。 ・木炭（竹炭）の効率的な生産技術を再開発し、防災備蓄燃料等として活用する。 間伐材や剪定枝等の資源利用や製造コスト低減に向けた生産技術の再開発を支援する。 需要として防災備蓄としてかまどベンチ等と合わせて利用する。 又、学校等での防災訓練等において若年層向け教育の一環としても木炭を活用する。 木炭の高機能化として「活性炭」を製造できれば、浄水処理で近年使用量が増加していることもあり、域内供給を目指す。	
3	1頁、はじめに上7～12行目中、「国内資源の有効活用」「地球温暖化の防止」「生物多様性の保全に配慮したカーボンニュートラル」をめざす実現のための方向性として、環境省の「自然共生サイト」認定登録を目指すべきと思料する。 そのための人的・物的を活用すべき。例えば、ローカル10,000プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金（総務省）等）。	